

ほほえみ 第83号



秋というよりは、肌寒さを感じるような季節となってきました。地球温暖化とはいえ、夏が過ぎると冬に向かうのは早く感じます。例年、秋刀魚の水揚げが話題になる時期ですが、何となく、今年の秋刀魚は小ぶりなようで、不漁なのだと感じます。他にも、秋の味覚は多いので、他のものは豊作だと良いなと思います。皆様が楽しみにしておられる秋の味覚は何でしょうか。

大局観

北朝鮮の挑発と米国の批難の応酬が続き、早朝にJアラートが発令されたりで、平和であった日本がそうでもない状況になってきているのですが、今月には衆議院選挙ということで、日本の感覚にも、ちぐはぐさを感じざるを得ません。歴史を振りかえれば、これまで、幕末、太平洋戦争直前の状況の二つが、日本の対外的に舵取りの難しかった時期だと思うのですが、幕末の危機は乗り切れたものの、太平洋戦争の方は大失敗、崩壊になった訳です。

歴史的な状況においては、何よりも大事なものは、大局観だと思います。幕末の方は、上手くいった方の例だと思うのですが、特に優れた大局観としては橋本景岳（橋本左内）のものでしょう。今より、海外の情報が格段に少なかった時代ですが、彼はその後の日本を極めて良く予測しています。

- ① 国際的にみて、日本の開国は避けられない。
- ② 開国した際に、日本が独立を維持するには、軍事力が必要になる。
- ③ 世界の強国は、英、露であって、この二国がアジアの覇権を争う。
- ④ 日本は、いずれこの二国のどちらかと同盟し、他方と戦う運命にある。
- ⑤ その際に、勝てなくても、同盟があれば日本は生き残る。

これは、20世紀前半までの状況を本当に良く言い当てています。日本は開国し、富国強兵策をとり、日英同盟を結んで日露戦争を戦うのですが、苦戦の末、良い条件でロシアと講和を結んでいます。橋本景岳は、アヘン戦争を起こした英国の倫理観を受け入れなかったため、歴史が少し江戸幕府寄りに進展していたら、江戸幕府が存続して日露同盟を結び、日英戦争を戦ったのかもしれませんが。驚くのは、橋本景岳がこの予想を24歳の時に行っていたことです。景岳は若くして俊才の誉れ高く、越前、松平慶永のブレインとなりましたが、安政の大獄で1859年（明治維新の8年前）26歳にして命を落としています。井伊直弼が、一橋派を弾圧した結果です。景岳が生き延びていれば、一橋派の中心人物になったことは間違いなく、薩摩藩は元々は一橋派でしたので、西郷隆盛と橋本景岳という、実際の歴史とは違う二人が手を組んで、日本をリードしていたかもしれません。完全に歴史が変わっていた可能性もありますね。

英国から米国にパワーバランスが変わりましたが、米露の二大勢力が東アジア情勢に大きく関わることは、橋本景岳の予測から大きく離れないと思われます。北朝鮮が米国と敵対するなら、ロシアを頼むであろうということです。

それにも増して心配なのは、米国が北朝鮮を利するようなことばかりしていることです。世襲王国・独裁者に対して、力でぶつかろうとする単純な発想にしか見えません。東洋的には、世襲の支配者には、武力で制圧しようとする前に調略を試みるということが多く、外交や対話というのは、表向きにしか見えないことが多いのですが。



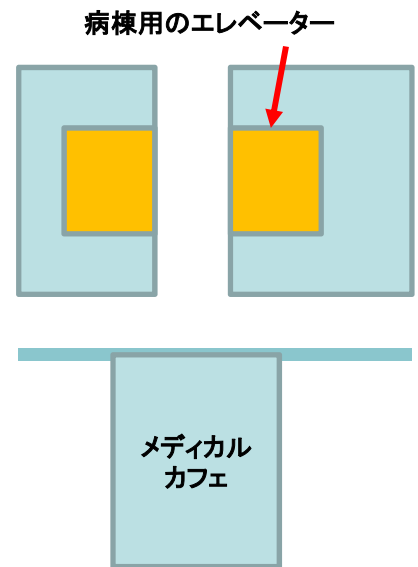
橋本景岳（左内） Wikipediaより

新渡戸稲造記念 メディカル・カフェ

当院で行っている、新渡戸稲造記念メディカル・カフェですが、これまで9階のすやかルームで行っていたところを、2階のなでしこサロンで使われている部屋をお借りして行うこととなりました。9月から場所の変更を行いました。丁度、その日は、弘前からメディカル・カフェの開設を予定しておられる方たちが、見学にいられていました。窓から、木々も見えて、落ちついた環境のところですよ。

メディカル・カフェは、当院のスタッフもお世話していますが、実際に来られる方々も、相手の気持ちに沿って素晴らしいアドバイスをされていることが非常に多く、医療スタッフの方が教えていただくことも多い状況です。先日、参加されている方が、メディカル・カフェの看板を作ってきて下さいました。可愛い看板です。

お茶を準備してお待ちしておりますので、是非、第三金曜日、午後2時30分にお立ち寄りください。



ユニバーサル・スタジオ・ジャパン (USJ)

先日、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンに行ってきました。約一年ぶりで、家族連れで旅行しました。ハリーポッターの hogwarts 城が再現され、ミニオン・パークも出来たということで、初めて行きました。大変な混雑振りでした。

ハリーポッターの世界は、非常に忠実に再現されていました。USJは全般に乗り物系の動きが激しくて車酔いのようになります。ライドを降りてすぐ、ハリーポッターの hogwarts 村に出てくると、微妙に平衡感覚がずれるので、真っ直ぐ立っているのか、ちょっとわからない感じになりました。若者以外がテーマパークに出かけるのは大変だと実感します。ミニオン・パークの混雑は、常軌を逸しているくらいですが、USJにいらっしゃっている年齢層は、10-20歳代が圧倒的なので、「遊ぶぞ・・・」という熱気を感じますね。



MEMO

10月のがん化学療法科の予定

10月3日	診療応援(平出先生)
10月9日	体育の日
10月10日	診療応援(工藤先生)
10月17日	診療応援(平出先生)
10月20日	新渡戸稲造記念メディカル・カフェ
10月24日	診療応援(工藤先生)
10月31日	診療応援(平出先生)



読書以外の秋に、トライしてみたいですね。